

## 四ツ葉学園の教育方針

本校の教育では、「未来に羽ばたく」「世界に羽ばたく」という言葉をキーワードとしています。前者は10年後、20年後に活躍する人材を作るといこと、後者はグローバル社会でも生き抜ける人材を作るといことを意味しています。

それらのキーワードを基本理念とし、確かな学力と豊かな人間力を身につけるために「自学」「自律」「共同」「共生」の4つを特徴とした独自の教育活動を展開しています。

### 自学

まずは、高い志を持ち、自ら考え、探求する「自学」です。学校は言うまでもなく、勉強する場所であり、基礎を徹底し、学力を上げることが大切です。そのため、SUP（スキルアッププログラム）として、朝、放課後、土曜日の学習の時間を復活させたほか、夏季休業中に勉強合宿を行うなど、他の中学校よりも授業時間を確保しています。

しかし、ただ授業時間を増やせば良いとは思っていません。英語や数学については少人数で授業を行い、体験学習を他の学校よりも多く取り入れるなどして、量と質の両面からの学力向上を求めたわけです。

	月	火	水	木	金	土
	朝SUP					
1	数学	探究国語	社会	理科	国語	土曜 SUP
2	理科	社会	理科	国語	数学	
3	国語	体育	数学	社会	英語	
4	英語	数学	探究英語	体育	音楽	
5	技・家	英語	国語	探究数学	体育	
6	技・家	LHR	美術	道徳	教養総合	
		⑦SUP		⑦SUP	自律	
		⑧SUP				

四ツ葉学園の時間割。一年生の朝 SUP では、基礎学力を身につけるため、読書や英語検定対策の時間が設けられている。



### 自律

続いて、自らを律し、強い気力を持ち、豊かな道徳性を身につける「自律」です。本校の校則は、「時間を守ろう」と「制服を着よう」の2つしかありません。悪いところは指導しますが、基本的には子どもたちの自制に任せ、学校のルールは子どもたちで議論して決めています。

他にも、生徒が生徒を育てる「サポートリーダー」という制度を取り入れています。先輩が後輩に学校生活のアドバイスをしたり、勉強を教えたり、時には人生を語ります。それによって、教える側にも自覚が生まれ、成長することができます。これは中高一貫校だからできるもので、本校の特徴です。

### 共同

さらに、大学や企業と連携することで生徒の知識を深め、創造性を高める「共同」です。

本校では、体験学習を多く取り入れていますが、商工会議所の力添えで、40人以上の市内の会社経営者や様々な職業の方々には本校に集まっていたことがありました。

職場体験では訪問先の1社だけでしか話を聞くことが出来ませんが、本校に集まって話をしてもらうことにより、子どもたちは一度に数十社の方と会って話をすることができます。この方法を取ることで、子どもたちの多様な

ニーズに応えることが出来ます。

伊勢崎市には明星電気という株式会社がありますが、この会社は小惑星イトカワの探索を行った「はやぶさ」の観測機器を作った会社です。本校は、その明星電気と共同研究を行っています。学校の中だけで授業をしても面白くありません。普段入れない場所で、普段できないことをすることによって、子どもたちは学校の授業では絶対に見られない良い表情をします。

他にも、真の大学の姿を見るため、オープンキャンパスではなく、自分たちで計画を立てて、自分たちでアポイントも取って訪問する「大学突撃取材」なども行っています。このように6年間を通して独自のキャリア教育を行っています。



### 共生

最後に、集団の一員としての自覚を持ち、共に認め、磨き合う「共生」です。伊勢崎市はアメリカのミズーリ州立大学と協定を結んでおり、この大学に入学する場合、現地で奨学金を貰うことができ、日本の国公立大学より安く進学できる仕組みが作られています。子どもたちや街づくりのために、市を上げて、このような協定を結んでいます。

また、本校ではミズーリ大学へ海外語学研修に行くプログラムも組んでいます。今年度も、私が団長となり、ミズーリ大学に行きま



した。これはただの国際交流ではなく、生徒の英語力の向上や世界に視野を広げることを目的に行うものです。具体的には、語学研修や実地研修を行うほか、参加者全員で浴衣を着て日本の文化を紹介するなど、他国の文化を学ぶだけでなく、自国の文化をPRする時間も設けました。他にも、現地の児童福祉施設に出向き、恵まれない子どもたちと交流するなど、ボランティア活動にも積極的に参加しています。

国際社会に生きると言ったとき、英語や世界のことだけを勉強すればいいのではありません。地元や日本の文化の良さを知ることが非常に大切です。伊勢崎市で言えばいせさき銘仙がありますし、こんなに素晴らしいものを子どもたちに学ばせないわけにはいかないのです。

### 街づくりにおける地域の役割

街づくりと教育は別物ではありません。学校だけでは学ぶことは限られていますし、地域だけでも限られています。コラボレーションをすることで、素晴らしい相乗効果が生まれるのです。ただ、そのためには双方にメリットがあるものでないと駄目だと思っています。

街づくりにおける学校の役割として、これからは地域の様々なところとネットワークを構築し、良い街づくりを行っていかねばと考えています。